

リチウムイオン電池等混入防止啓発と現状



NPO法人

持続可能な
社会をつくる

元気ネット

ステージでトークショー



認知アンケート



全国約300名の方にメールで依頼

調査目的：リチウムイオン電池による発火事故防止の啓発

調査期間：2020年10月1日～12月15日

調査対象：全国約300名へメールで拡散依頼

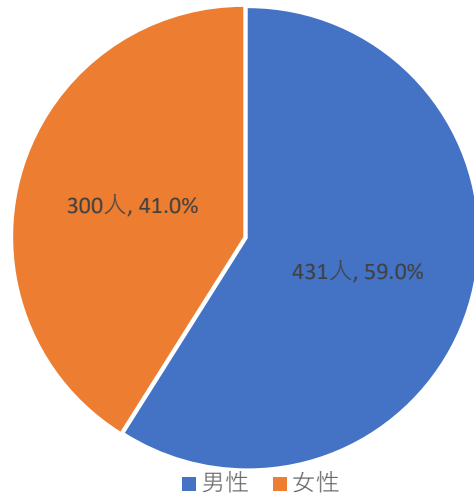
調査方法：インターネット、紙媒体（郵送、他）

回答人数：731人

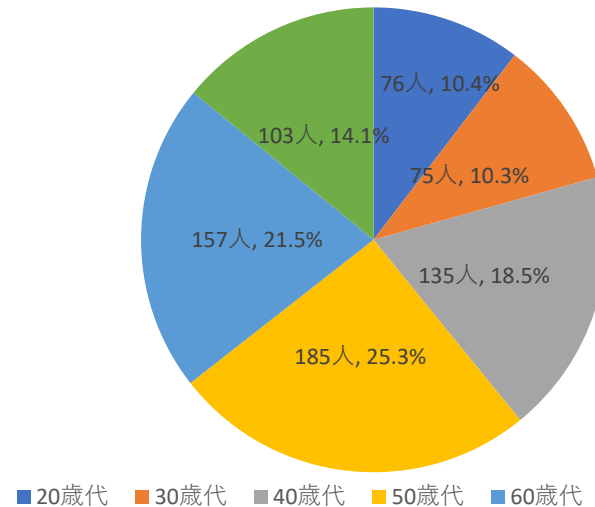
【アンケートの特徴】

アンケートの途中に動画視聴をはさみ、視聴後の感想や行動変容についての問いを設けた。

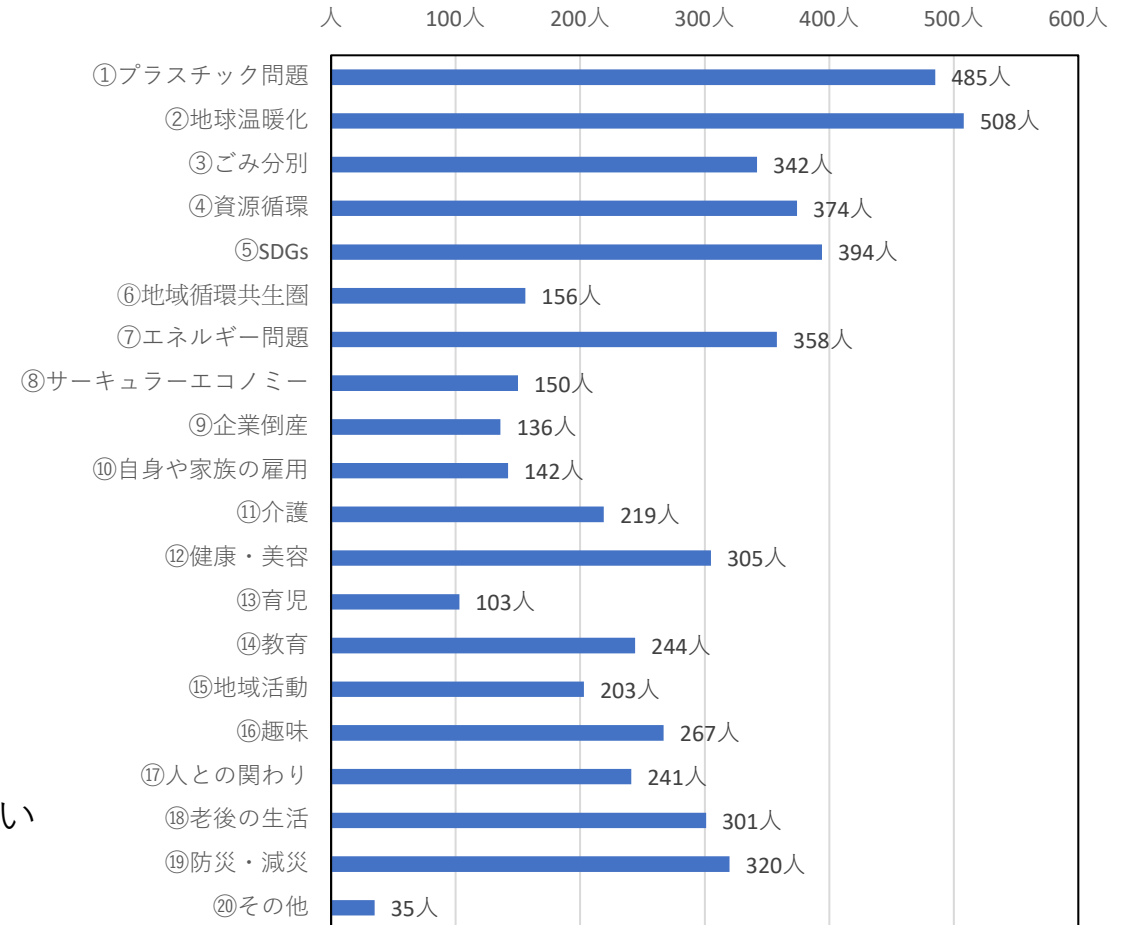
属性



関心事



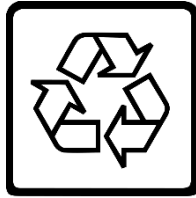
50歳代、60歳代の回答数が多く、20歳代、30歳代の回答数が少ない



新しい課題 《リチウムイオン電池の排出》 2021年～

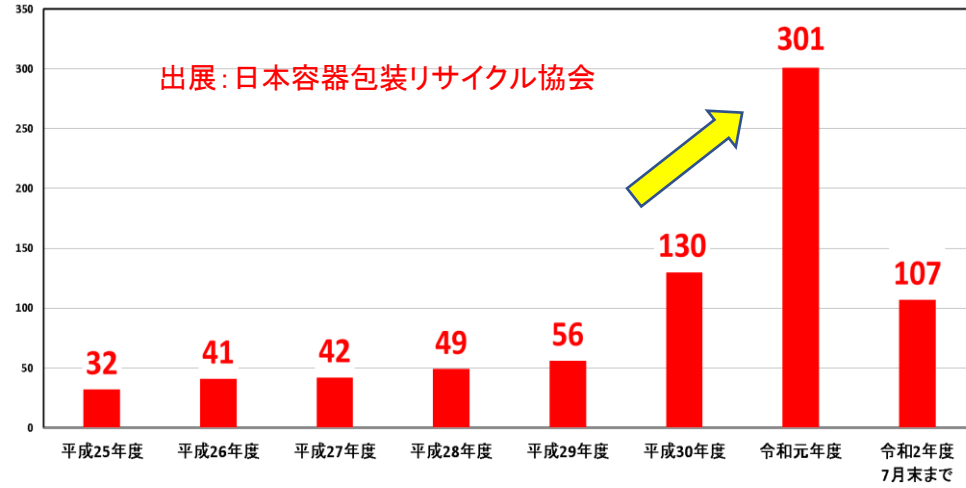
プラスチックごみの中間処理施設や清掃工場において、リチウムイオン電池などが原因と思われる発煙・発火のトラブルが令和元年に急増。

検出物の内訳は、モバイルバッテリー、スマートフォン、ゲーム機、携帯扇風機、電動歯ブラシ、シェーバー、電子タバコ（加熱式タバコ）、ロボット掃除機など。



Li-ion

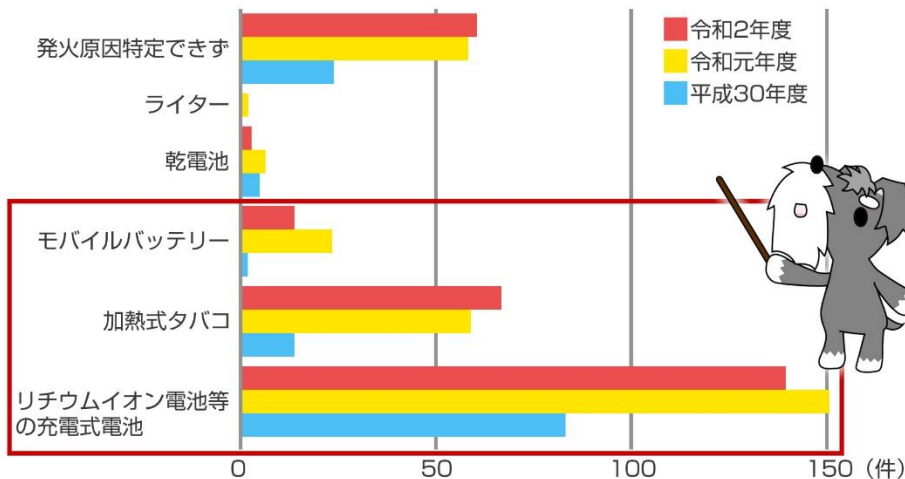
全国の再生処理事業者での発煙・発火トラブル件数の推移(単位:件)



発火原因となったリチウムイオン電池



発煙発火トラブルの原因物の内訳 (令和3年3月末)



3分動画

<https://youtu.be/D-T2EI54FO4>

火元は電子機器

充電式の機器は、過度な力加わると激しく発熱・発火する危険があります

ごみ処理中の発火トラブル 急増中!!

分別排出ルールは、お住まいの自治体にお問い合わせください
公益財団法人 日本容器包装リサイクル協会

2021年度ショートバージョンに編集



7名のユースの方と2回意見交換し、
3分30秒に編集

Facebook、Twitter等で若い世代に
拡散を依頼した結果、容リ協会の
リーチ数が通常の20倍にアップ

オンラインイベントや講演会等で広報 (10月～12月の間)

- ・ 3R推進全国大会in和歌山（環境省）
- ・ 子どもとためす環境まつり（中央区）
- ・ 「ごみの分別から考えるSDGs『すてる責任』」（APSP）
- ・ 3R推進キャンペーンイベント（新宿区）
- ・ WEB交流フェスタ2021（東京都）
- ・ 消費生活コンサルタント養成講座
- ・ 神奈川県環境リーダー養成講座
- ・ 11/2 NHKあさイチ
- ・ 月間廃棄物12月号巻頭言寄稿
- ・ 都市清掃359号

情報共有のため2021年12月から
マルチステークホルダー会合を開催中

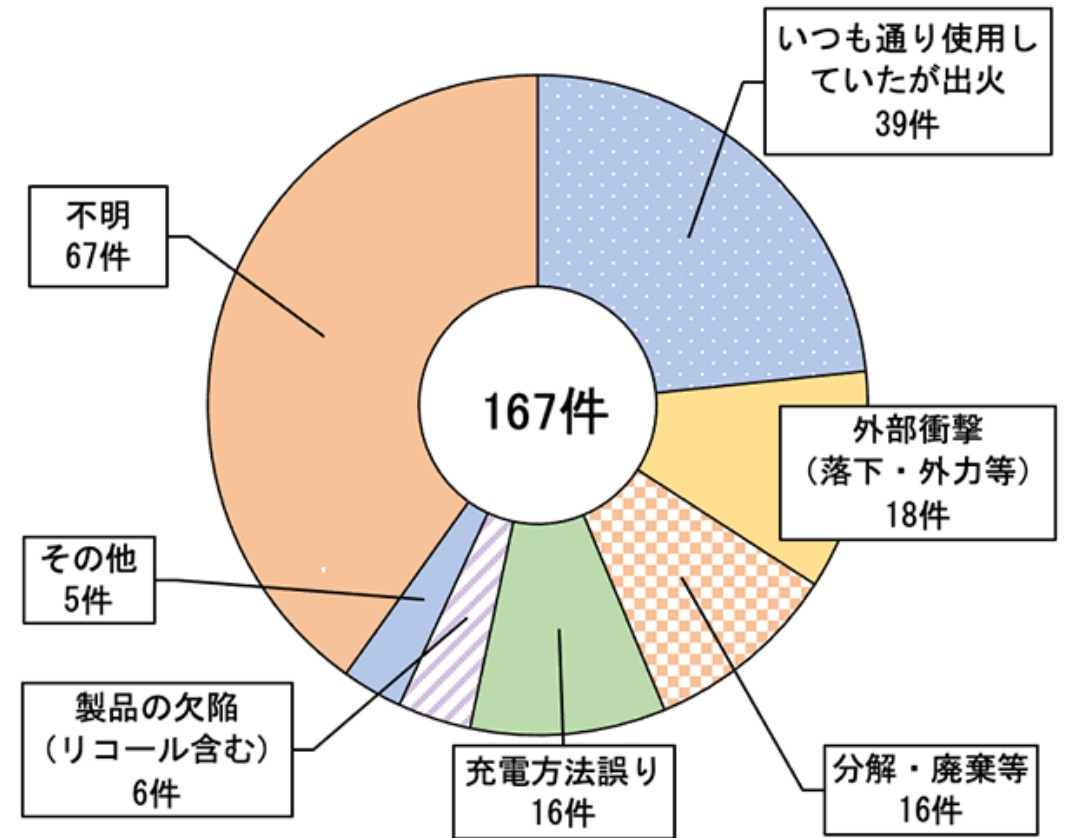
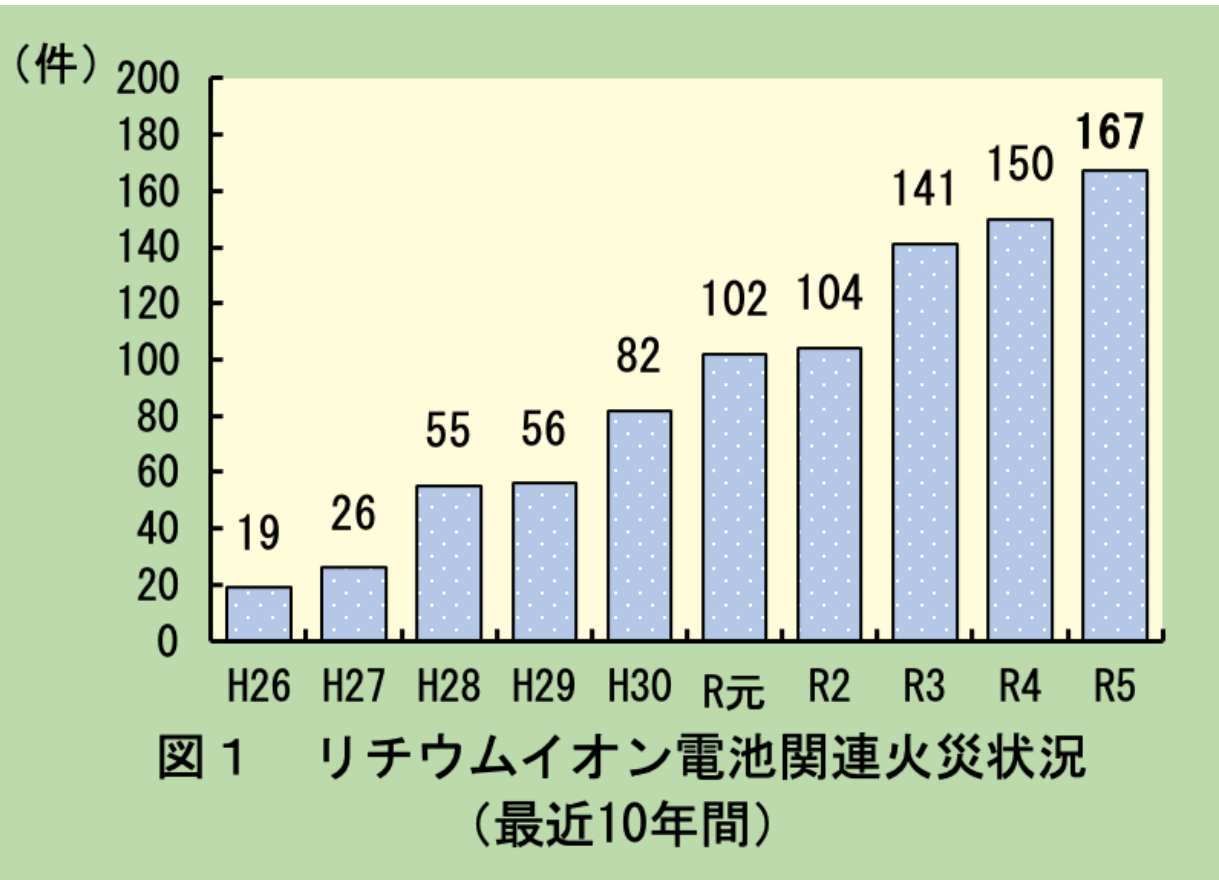


動画

<https://youtu.be/D-T2EI54FO4>

現 状

様々な対策が実施されているが、発煙・発火は減っていない



印西市・川口市でも火災が発生

